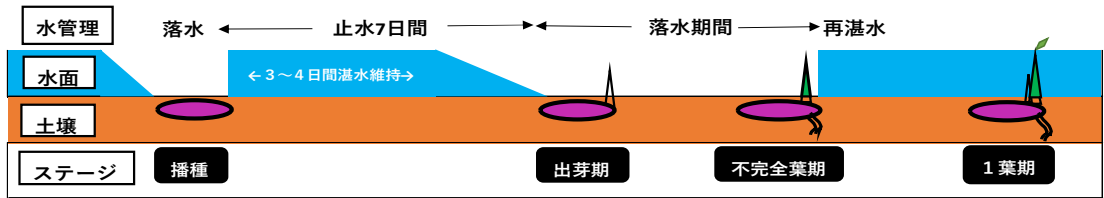


リゾケア XL を用いた水稻湛水直播栽培の特徴

【概要】

- 1 リゾケアXLは生産者がメーカーにコーティング処理を委託し、3種類の農薬と酸化鉄があらかじめコーティングされたコーティング処理済み種子として生産者に提供されます。リゾケアXLを用いた水稻湛水直播栽培では、収量確保のポイントである**苗立ちの安定化**が期待できます。
- 2 リゾケア XL の特徴
- (1) 播種深 0.5cm～1 cm 程度の土中播種で苗立ちが良好となります。表面播種では鳥害被害率が高く、播種深 2 cm では出芽不良となり、苗立ち率が低下します（表 1）。
- (2) 播種後の水管理とその特徴



※鉄コーティング湛水直播栽培との相違点：鉄コーティングは1葉期展葉後に再湛水する。

- ア 落水条件で播種し、速やかに入水します。
- イ 播種・入水後は止水したまま自然落水とし、不完全葉期を確認後に再湛水します。
- ウ その後の水管理は鉄コーティングに準じます。
- エ 播種後の落水期間は鉄コーティングより短く、水管理が容易なので省力化が期待できます。
- (3) 生育ステージ（稲 1 葉期、出穂期及び成熟期）は鉄コーティング並みで、苗立ち率や収量は同等です。
- (4) 種子コーティング費用は鉄コーティングと比較して高いです（図 1）。

【試験データ等】

表 1 播種深別の苗立ち率及び鳥害被害率

コーティング方法	播種深	苗立ち率	鳥害被害率
	cm	%	%
リゾケアXL	0.0	27	68
	0.5	80	0
	1.0	80	0
	2.0	50	0
鉄	0.0	80	15

注 1 供試品種：「銀河のしずく」

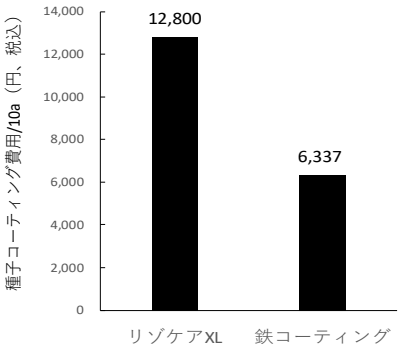


図 1 種子コーティング費用

注 1 播種量乾もみ 4 kg/10a として算出。
注 2 種子代は別料金とした。
注 3 リゾケアXLは、購入価格(2024.11月末の価格)。

【令和 6 年度成果】 リゾケア XL を用いた水稻湛水直播栽培の特徴（R6-指-02）